

赤潮情報第51号 (八代海：カレニア ミキモトイ 警報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

カレニア ミキモトイの赤潮は、八代海の多くの調査点で確認されなくなりましたが、一部の海域では依然として高密度で確認されています(上天草市宮津湾)。
また、有明海南部海域でも高密度で確認されました。

本日、熊本県が八代海を調査したところ、カレニア ミキモトイが確認されました(詳細は下図を参照して下さい)。

本種が確認されている海域の近くで、魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、餌止めや状況に応じて緊急出荷等の対策を行うとともに、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意して下さい。

なお、給餌の再開に当たっては、魚の鰓がダメージを受けている恐れがありますので、魚の様子を見ながら徐々に与えるようにして下さい。

また、八代海北部から上天草市樋島北部にかけては珪藻類(優占種:スケルトナマ属)と濁りによる着色域が確認されました(図内の点線囲み部分)。本県において本種により魚介類がへい死したことはありませんが、周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に注意して下さい。

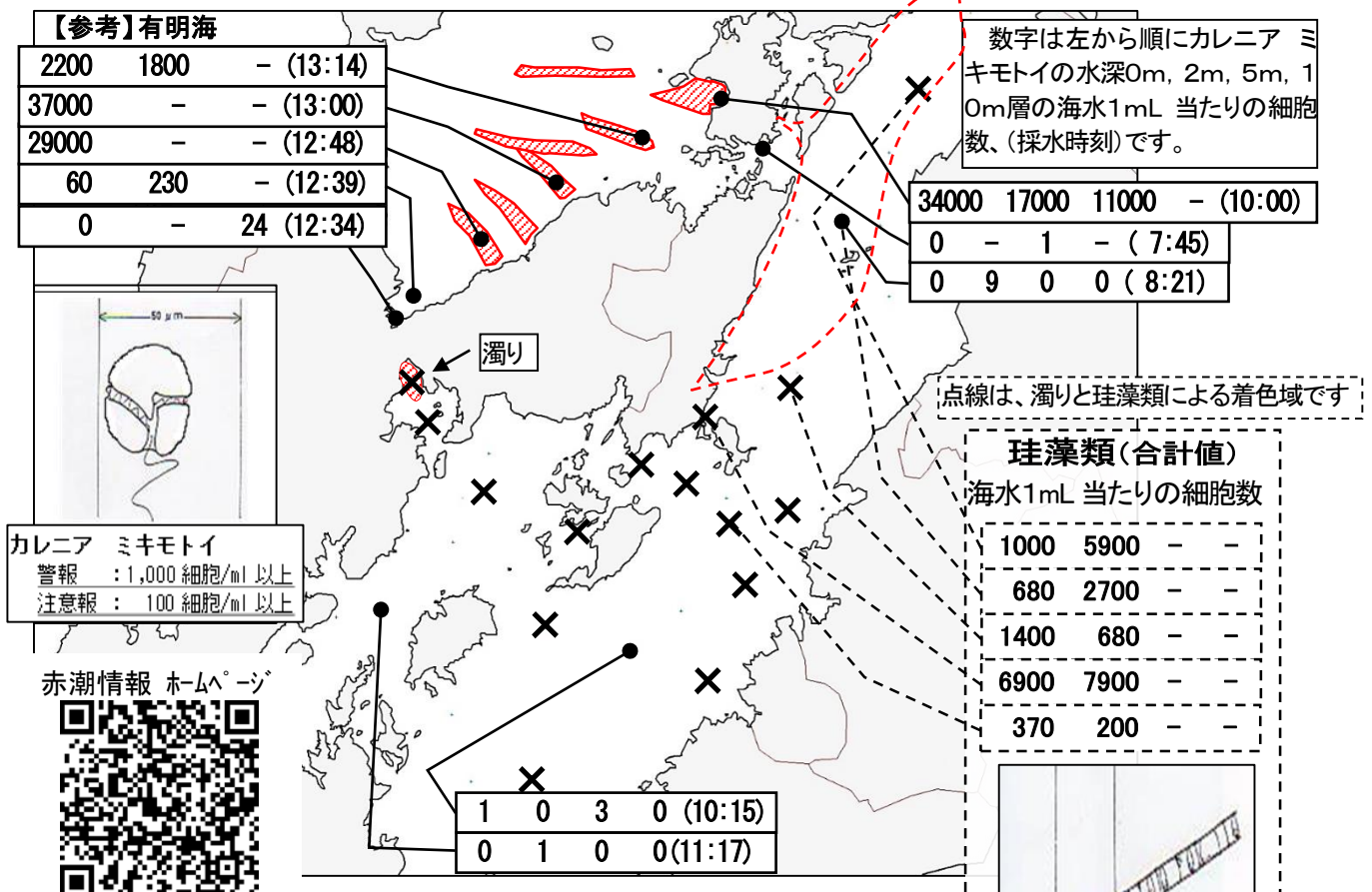


図 赤潮発生海域

※上天草市大矢野町宮津湾(上図中央の一番上の定点)は、本情報では八代海として扱っています。

※斜線部は確認された、本種の着色域です。

※×印：全ての採水層でカレニア ミキモトイが0細胞